

平成 28 年度 第 1 回萩市立図書館協議会 議事録

平成 28 年 7 月 1 日 (金)

10:00 ~ 11:30

会場 明木小学校・旭中学校

萩市立明木図書館

出席者	協議会委員 7 名	三好健二委員・津田和夫委員・大島昌子委員 小池美晴委員・安達和代委員・藤原重子委員 福島和子委員
	教 育 長	中村 哲夫
	市民活動推進部長	児玉 崇
	事 務 局	萩 図 書 館 江山館長・横山補佐 松浦主任 須佐図書館 河口主任 明木図書館 青水館長・森岡主任司書 田万川中学校図書館 杉山総括補佐 NPO 萩みんなの図書館 澤井理事長

1. 開会のことば (青水館長)

本日は図書館協議会にご出席いただき、ありがとうございます。明木小学校・旭中学校統合に伴い、老朽化と耐震性が無いということで、学校に図書館を併設し、4月8日に開館しました。利用者に大変喜ばれていますが、本通りから少し外れており、通りがかりに寄ることができなくなったため、わざわざでも来館していただけるような魅力を増すことが課題と考えております。本日は、提出された議題・報告を協議いただき、有意義な時間となります様お願い申し上げます。また、新図書館をゆっくり見学していただきたいと思っております。

2. 教育長あいさつ

昨日、学校訪問に来て、昼休みに明木図書館に寄ってみました。ゆったりとソファで本を読んでいる子ども達の姿があり、他の小・中学校図書館との違いを感じました。そこに、一般の利用者もいることで、大人と子どもが会話し、大人から読書指導などの働きかけもできるといったプラスの要素があります。田万川中学校図書館も近い状況にあります。この図書館の状況を、子どもの学びにどう活かしていくかが今後の課題と考えております。皆様方から、もっとこういう事をすればいいのではというご意見をいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

3. 三好会長あいさつ

新萩図書館は昨年度5周年を迎えました。このたび平成27年度の図書館年報を送っていただき、過去4年間のものとあわせて読ませていただきました。図書館当局、並びにNPOの皆さんがフルパワーで努力された、その成果が窺えました。これからの5年間、司馬

遼太郎ではありませんが、「坂の上の雲」を目指していくか、あるいは、少し立ち止まってこれまでのやり方を振り返り、積み残した課題・問題はないだろうかと考えていくか。つまり、攻めでいくか守りでいくかということです。今後、自治体の財政も悪化こそすれ良くなることはないだろうと思われまますので、皆さんのご意見をいただきたいと思います。

横山補佐 〔異動職員紹介〕

横山補佐 規定により、議長は会長があたることになっています。三好会長、よろしく願い致します。

4. 議 事

会 長 11時から新明木図書館の見学を予定しています。議事の進行にご協力をお願いします。

会 長 議事(1)平成27年度事業報告及び平成28年度事業計画について、事務局から説明をお願いします。

横山補佐 萩図書館の事業報告・事業計画について説明(協議会資料1及び年報)

河口主任 須佐図書館の事業報告・事業計画について説明(協議会資料1及び年報)

森岡主任司書 明木図書館の事業報告・事業計画について説明(協議会資料1及び年報)

杉山総括補佐 田万川中学校図書館の事業報告・事業計画について説明(協議会資料1及び年報)

会 長 各館から説明がありました。意見・質問はありませんか。
(質疑なし)

会 長 議事(2)萩図書館の運営基本要項について、事務局から説明をお願いします。

江山館長 萩図書館の運営基本要項について説明(協議会資料2)

会 長 事務局から説明がありました。意見・質問はありませんか。

会 長 最近、佐賀県の教育情報システムに無線LANを通じて不正アクセスが行われて個人情報漏洩した事件がありました。図書館情報システムにおいてもシステムの脆弱性についての点検が必要ではなからうかと心配しています。大学の図書館・研究室の図書館にはハッカーの不正アクセスが表面化しています。図書館業務の中で図書館情報システムの占めているウエイトは高く、一旦システムがダウンしたり、不正アクセスにより壊れたりした場合は大きな影響が出ます。さらに意欲的な計画もお願いしたいのはやまやまですが、地味なことですが、図書館情報システムの脆弱性についても内部で充分検討して欲しいと思います。

委 員 運営の基本的な考え方の3)で学びの拠点としたいという説明がありましたが、以前、新聞で国立国会図書館の国際子ども図書館に調べ物の部屋ができたという記事を見て気になり、資料を送ってもらいました。高度な論文力をつけるという希望もありますが、明木図書館のチラシ(夏休み子ども教室)を見て、具体的に図書館から呼びかけることも必要だと感じました。読書感想文の宿題が出るので、夏休みに小中学生向けに呼びかけをやってみたらどうでしょうか。図書館職員や学校の先生で指導し、参加すればその場で少し取り掛かって帰られるような場があればと思います。保護者も参加を勧めると思います。また、中・高生向きに高度な指導ができる人をおいて、調べ学習を組み立てる働きかけをしてはどうでしょうか。具体的に図書館から呼びかけをしていただきたいです。運営基本要項にも具体性をもたせていただきたいです。国際子ども図書館の調べ物の部屋については、インターネットでも調べることができます。

会 長 議事 (3) 読書通帳の利用促進について、事務局から説明をお願いします。

江山館長 ハローブック事業で、保健師と連携して読書通帳の利用促進を図っていますが、年間250名程度の方に利用案内を配布しても、誕生してから1歳までの間に実際に図書館に来られた方は50名程度しかない状況です。そこの利用促進を図る必要があると思っています。また、読書通帳を、本を読んだ数を競うためだけに使いたくないというのが館としての考えで、違った形で読書通帳の利用促進を考えていかなければと思っています。今までの取り組みとしては、この本は子どもたちに是非読んでほしいという、図書館員のお勧めする本のコーナーを作ったりして利用促進を図ってきました。現在、萩市内の小中学生の7割程度には、読書通帳が行き渡っている状況です。

会 長 事務局から説明がありました。意見・質問はありませんか。
(質疑なし)

5. 報告

会 長 報告事項について、事務局から説明をお願いします。

横山補佐 [説明]

- (1) 「ライブラリーセッション」、「夏の歴史館」について
- (2) 「私たちがめざしていること」宣言について
- (3) その他、配布したチラシについて

会 長 事務局から説明がありました。意見・質問はありませんか。

会 長 年度報告は非常によくできていますが、数字では直感的にわかりにくいので、グラフ化したらわかりやすいのではないかと思います。また、図書館の課題と問題点を示して欲しいと思います。指定管理者と違い、NPOと市との協働というところでの、問題・課題などがあると思います。その悩みを共有することで解決の方向が生まれるのではないかと思います。各委員も、それに建設的な意見を述べさせていただければと思います。

委 員 運営の基本的な考え方の4)で貴重な歴史資料のデジタル化を進めているということについてです。萩図書館に教えてもらった方法で、知的な遺産を見ることができました。東京に居ても萩の原資料を友人と一緒に見ることができました。デジタル化は大変な作業ですが、進めて欲しいです。三好委員が言われたとおり、ネットで繋がっているため、ウィルスが入る可能性もありますので、対策も必要と思います。

6. 新明木図書館見学

7. その他

横山補佐 次回協議会は2月に開催の予定にしています。委員任期が来年3月末となっていますので、現委員最後の会となります。

8. 閉会のことば (江山館長)

図書館利用状況について

①入館者数

	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末	5ヵ年平均
萩図書館	388,080	347,178	348,361	318,250	339,118	348,197

②1日平均入館者数

	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末	5ヵ年平均
萩図書館	1,069	959	962	882	941	963

③貸出点数(個人)

	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末	5ヵ年平均
萩図書館	401,928	368,783	348,454	322,650	317,884	351,940
須佐図書館	47,625	48,456	35,152	33,919	36,186	40,268
明木図書館	6,702	7,138	7,131	6,148	4,874	6,399

④総登録者数(個人)

	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末	5ヵ年平均
萩図書館	20,401	21,466	22,502	23,315	16,747	20,886
須佐図書館	3,030	3,083	3,141	3,169	1,752	2,835
明木図書館	205	210	228	270	284	239

* 平成27年度システム更新時に、5年を超える未利用者については、登録データの削除を実施した

⑤利用登録者数(個人)

	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末	5ヵ年平均
萩図書館	8,736	7,938	7,738	7,351	7,213	7,795
須佐図書館	920	912	774	738	678	804
明木図書館	186	155	150	169	147	161

⑥延利用人数(個人)

	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末	5ヵ年平均
萩図書館	119,433	108,095	103,277	96,210	94,539	104,311
須佐図書館	14,894	14,975	11,246	11,071	11,212	12,680
明木図書館	2,345	2,300	2,212	1,968	1,590	2,083

⑦所蔵数

	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末	5(4)ヵ年平均
萩図書館	203,910	211,216	217,259	223,637	226,658	216,536
須佐図書館	54,206	54,453	55,598	56,691	57,694	55,728
明木図書館	41,207	42,092	43,122	43,639	48,722	43,756
田万川中学校図書館	—	10,434	10,622	11,040	11,333	10,857

⑧読書通帳作成者数

	平成22年度末	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末
萩・須佐・明木図書館	434	2,243	2,713	3,215	3,643	4,092
うち中学生以下	434	2,082	2,439	2,864	3,222	3,557
うち高校生以上	0	161	274	351	421	535

「萩図書館

運営の考え方と運営要項」 (案)

平成28年7月

□ はじめに

萩図書館は、平成23年3月21日の開館に先立ち、平成19年3月に「新図書館・児童館建設基本計画」を策定しました。その中で謳われた基本理念「市民に親しまれ、気軽に利用でき、ひとづくりや暮らしに役立つ図書館」と、

「図書館のめざすもの」という4つの指標

- ① 市民のだれもが気軽に利用できる図書館
- ② 子どもの創造性を育む図書館
- ③ ひとづくり・まちづくりの源となる図書館
- ④ 市民の暮らしに役立つ図書館

を実現するため、全国初の試みとして「萩市」と「NPO萩みんなの図書館」との協働での運営を試みています。

■ 運営の基本的な考え方

社会情勢の変化や市民の要望が多様化・高度化するなか、図書館運営者の側も意識の変革が求められています。

「地域の知の拠点」として、市民ニーズに応える幅広い資料の収集・保存に努めます。また「課題解決型図書館」「地域密着型図書館」としてレファレンスサービスの充実にも努めます。

1) NPO法人「NPO萩みんなの図書館」との協働運営を推進します。

NPO法人は、市民が集い自主的に図書館活動を支援する組織です。萩市の場合、図書館運営業務の大半をNPO法人に委託し、萩市と「協働」する新しい概念で運営に携わっています。これは、指定管理者制度とは本質的に違う全国初の試みです。運営を軌道に乗せるため、関係者はもとより市民に幅広く理解と支援を求めます。

2) 「学校教育」と「実社会」をつなぐ「社会教育」「生涯学習」の場として活動を推進します。児童生徒は、学校で人間としてあるべき基本を学びます。

旧来、図書館はその延長線にあり、静かに読書に勤しみ知的好奇心を満たす場でした。しかし、現今の成熟社会では、知識はもとより人間形成、自己確立の契機となる場、即ち社会教育の場として図書館は、「読む」「借りる」「出会う」場だけでなく、「考える」「話す」「交わる」場の提供が求められます。

当館も、展示や講演、集会などに工夫を凝らし、目的の達成に努めます。

- 3) 学校・学校図書館との連携の強化に努めます。
学校や学校図書館との連携により、子どもたちに読書に親しむ機会をより多く提供し、多面的な学習あるいは調べ学習の手助けをすることはとても重要です。
学校図書館関係者と理解を共有し、子どもたちの知識と自立心を育む図書館活動に努めます。
- 4) 地域図書館として、特色のある地域資料、貴重資料の整理・公開に努めます。
萩市は、長きに亘り萩藩の藩都であったことから、当館には貴重な歴史的資料、郷土資料が多く保存されています。
時代の変革期にこれらの貴重資料は、体系的な整理・公開が求められます。
館の事情はありますが、地域図書館として特色のある取り組みをします。
- 5) 「市民みんなの図書館」になるよう活動に努めます。
現今、図書館界の課題の一つに、有効利用者に占める実利用者数の割合が低いことがあげられます。これは、IT化社会となり情報取得の幅が広がったことも一因と考えられますが、図書館の本質的な楽しさを市民に理解してもらう努力が足りないという指摘もあります。
結果、図書館は特定の利用者のための施設と揶揄され、運営は正職員でも臨時職員でも同じではとか、指定管理者でもいいのではといった効率主義の議論になります。
私たちは、自らの資質を高めると共に、図書館の本質を伝え、市民がそれぞれの思いを持って、それぞれの利用の仕方図書館活動を楽しめるよう日々努力します。

■ 運営要項

- 1) 知的好奇心に応える図書館づくりを推進します。
- ①利用の普及と情報発信の強化
- * 情報を一元化して、ホームページの充実など効果的なPRを行う。
- ②資料の収集・保存
- * 資料選定会議を充実させ、効果的、計画的な収集を行う。
 - * 司書の選書能力を高める。
 - * 予約、リクエスト、レファレンスなどを分析し、市民ニーズを把握する。
- ③他の団体との連携
- * 県立図書館や市町図書館と連携し、相互貸借や地域資料の分担収集・保存等を継続します。
 - * 国立国会図書館や山口大学図書館、国立国文学研究資料館等と連携して専門的調査・研究の充実を図る。

- 2) 地域の歴史と文化関連資料、行政資料の収集・保存・公開と電子化に努めます。
 - ①郷土史、維新史関係資料の収集・保存
 - ②萩焼、絵画、史跡等の郷土文化資料の収集・保存
 - ③行政資料・地域資料の収集・保存
 - ④地域資料のデジタル化と公開

- 3) 文化事業の開催・館内展示の充実に努めます。
 - ①図書館講座（ライブラリーセッション）の開催
 - ②講演会・展示会・企画展 等の開催

- 4) レファレンスサービスの充実に努めます。
 - ①レファレンスサービス事例のデータベース化
 - ②パスファインダーやテーマ別ブックリストを作成
 - ③郷土史・維新史に関しては、レファレンス専門員制度を活用
 - ④職員司書のレファレンス能力の向上

- 5) バリアフリーサービスの充実に努めます。
 - ①障がいがある方へ配慮した資料や機器・機材の整備・充実
 - ②大活字本や字幕入り映像資料等の利活用促進
 - ③録音図書や点字図書・点訳絵本の提供
 - ④音声読み上げ機能や文字サイズ拡大機能のある電子書籍の利用促進

- 6) 多文化サービスの充実に努めます。
 - ①外国語資料の収集に配慮
 - ②外国人利用者に翻訳アプリ導入機器を提供

- 7) 子ども読書活動の推進に努めます。
 - ①子ども読書活動推進計画に沿って、子どもが読書に親しめる環境づくり
 - ②おはなし会や読み聞かせ会など催事を通して、本に親しむ機会を提供
 - ③幼児期からの読み聞かせの大切さを理解してもらうよう、保護者にハローブック
セットを配布
 - ④読書通帳の普及

- 8) 職員の資質・能力の向上に努めます。
 - ①内部・外部の研修を実施
 - ②接遇研修等で、明るく親しみやすい図書館づくり